



みやぎ — 90号 —

発行元 独立行政法人国立病院機構宮城病院
 発行責任者 広報委員長 稲木 涼子
 〒989-2202
 宮城県亶理郡山元町高瀬字合戦原100番地
 TEL 0223-37-1131 FAX 0223-37-3316
 ホームページ <http://www.mnh.go.jp/>

新年度ごあいさつ

院長 安藤 肇史

近隣の四方山（よもやま）の緑も日ごとに輝きを増し、生命の息吹を感じる季節となりました。皆様には、謹んで新年度のご挨拶を申し上げます。また、平素より当院の運営に多大なるご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

年度替わりは職員の異動が最も多い時期ですが、この度、新たな幹部職員とともに恒例の集合写真を撮影いたしました。現代では、加工技術によって満開の桜を再現することも容易ですが、やはり実際に桜の木の下に集い、その風情を感じることは、新たな年度を迎えるにあたって身の引き締まる思いがするものです。今回は特に事務方の体制が、院内異動を含め一新されました。今年度は診療報酬改定や地域医療構想の本格化など、事務部門にとっては多忙を極める一年になることが予想されますが、入念な引き継ぎを行っておりますので、新体制でも円滑に運営できるものと確信しております。

さて、本年度私たちが最優先課題として掲げるのは、地域とのさらなる連携強化です。当院は長年、この山元の地で専門医療を提供してまいりましたが、これからの時代に求められるのは、独立した「点」としての医療ではなく、地域全体で患者さんを支える「面」の医療です。行政や地域の福祉・介護施設、そして医師会の先生方と、これまで

以上に密接な協力体制を構築してまいります。町が進める健康づくりや地域包括ケアの取り組みに、当院の専門的知見を積極的に還元し、「この町に住んでいて本当に良かった」と感じていただける安心のネットワークを築き上げていく所存です。

もう一つの柱は、「働きやすい職場環境の整備」です。質の高い医療を提供するためには、その担い手である職員一人ひとりが心身ともに健康で、誇りと意欲を持って働ける環境が不可欠です。本年度は、業務の効率化やワークライフバランスの推進を一層加速させます。互いの多様性を尊重し、自由に意見を交わせる風通しの良い文化を醸成することで、それぞれの専門性が最大限に発揮できる職場を目指します。職員の笑顔が、ひいては患者さんへの質の高いサービス、そして地域の安心へとつながる——その好循環を、院長として先頭に立って作り出していく決意です。

本年度も変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、年度初めのご挨拶とさせていただきます。



写真前列左から

仁村統括診療部長、加藤事務部長、安藤院長、
 割田副院長、岩田看護部長

写真後列左から

小野菜削部長、中嶋企画課長、舞原経営企画室
 長、渡邊管理課長、守屋副看護部長

【基本理念】 『良い医療を安全に心を込めて、地域とともに』

【行動理念】

1. 私たちは生命と人権を尊重し、患者さんを中心とした質の高いチーム医療を推進します。
2. 私たちは難病、重症心身障害など国が担うべき医療と臨床研究を推進します。
3. 私たちは地域の医療・行政機関と連携し、地域の方々への質の高い医療の提供及び疾病予防、健康増進に貢献します。
4. 私たちは病院の機能を十分発揮できるよう、健全な経営と経営基盤の強化に努めます。
5. 私たちは常に患者さん方から学び、向上する組織体を目指します。
6. 私たちは健康で明るく働きがいのある職場づくりに努めます。



宮城病院公式マスコット

キャラクター

「みやべりー」

宮城病院
 インスタグラム



※読み取ってください

新規採用者オリエンテーション

17名の新規採用者を迎え、新年度の体制がいよいよ始まります。新たな一步を踏み出す初日は、誰にとっても緊張や不安、そして未来への期待が入り混じる特別な一日です。その空気は、新規採用者の皆さんだけでなく、オリエンテーションを運営する私たちにも自然と伝わってきます。

毎年この場に立つたび、私たち自身が社会人として歩み始めた頃のことを思い起こします。右も左も分からない中で胸を張ろうとしていたこと、不安を抱えながらも新しい環境に飛び込もうとしていたこと、そしてその先にある社会人への期待を胸に抱いていたこと——その一つひとつが、今も鮮明によみがえります。

だからこそ私たちは、少しでもその不安を和らげ、安心して第一歩を踏み出してもらえるよう努めたいと考えています。医療に携わる者としての心構えや責任、そして地域の皆さまに寄り添い、信頼される職員として歩んでいくための礎を、このオリエンテーションを通して丁寧に伝えてまいります。

新たに加わる職員が、それぞれの力を存分に発揮し、患者様や地域医療に貢献できる存在へと成長していけるよう、私たちもまた共に学び、共に励み、支えてまいりたいと思います。新しい仲間を迎えるこの春が、実りある一年の始まりとなることを心より願っています。

(教育担当師長 小田木 愛・給与係長 鈴木 元)



職場紹介 中央病棟 1階

このたび4月から中央1階病棟師長に着任しました、鏡沙智と申します。これまで仙台西多賀病院、仙台医療センターで勤務してまいりましたが、新しい環境に少し緊張しつつも、日々「早く皆さんの一員になりたい」と思いながら過ごしています。

今年度の中央1階病棟は新採用者・異動者あわせて5名の仲間が加わり、総勢33名でのスタートとなりました。人数だけ見るとちょっとしたクラス規模ですが、にぎやかさとチームワークの良さはそれ以上かもしれません。

新しいメンバーが入ると、職場の空気も少し変わります。いい刺激を受けながら「教える側も一緒に成長中です」と胸を張って言える部署を目指したいと



鏡 沙智 師長

思います。困ったときはお互いさま、遠慮なく声をかけ合える雰囲気を大切にしていきたいです。

患者さまと家族に安心していただける環境づくりのために、33名それぞれの力を持ち寄りながら、これからも前向きに取り組んでまいります。

どうぞよろしく申し上げます。

(看護師長 鏡 沙智)



防災訓練

宮城病院では毎年、東日本大震災が発生した3月に、地震を想定した防災訓練を実施しています。

今年度は、3月14日14時に千葉県沖を震源とする大きな地震が発生し、山元町でも震度4を観測、さらに宮城県沿岸に津波警報が発令されたとの想定で訓練を行いました。

訓練では、院内各部署における被害状況の確認をはじめ、津波警報発令時における低所から高所への避難、発災後の業務継続に向けた対応確認などを主な内容として実施しました。

15年前に発生した東日本大震災では、宮城病院が位置する山元町においても多くの方々が被災され、当院に勤務する職員の中にも被災した者がおりました。また、帰宅途中で津波の犠牲となった職員もいたことから、今回の訓練では、通勤途上が浸水区域となる可能性についても改めて注意喚起を行い、業務継続計画に反映することとしました。

また、令和3年および令和4年に発生した福島県沖地震では、当院も大きな建物被害を受けました。その後の災害復旧・耐震工事は令和5年3月に完了しましたが、災害に強い病院づくりは、施設整備だけで完結するものではありません。

災害時に患者さんの安全を守り、地域医療を継続していくためには、日頃からの備えと、職員一人ひとりの意識が重要です。今後も定期的な防災訓練を通じて、災害対応力の向上に努めてまいります。

(給与係長 鈴木 元)



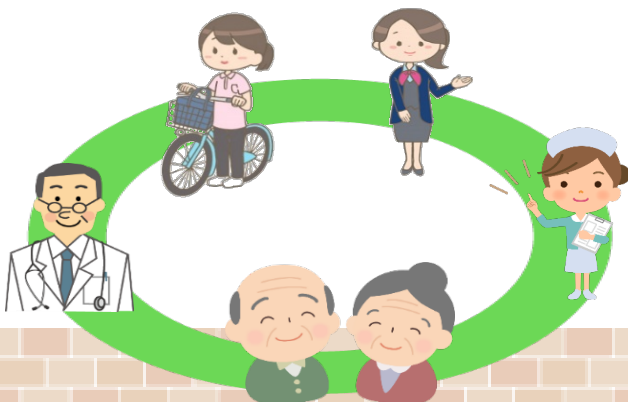
地域医療連携室より ～在宅支援について～

こんにちは、新年度を迎えて地域医療連携室は看護師3名、医療ソーシャルワーカー3名、事務員1名の体制でスタートしております。どうぞよろしくお願いいたします。

地域医療連携室の主な役割は「患者さんが医療や介護を切れ目なく受けることができるよう、当院と地域をつなぐこと」と「患者さん・家族の心配事や不安を軽減することができるようお手伝いすること」です。具体的には、当院に紹介となった患者さん及び、当院から他院へ紹介となった患者さんの受診や転院の調整や、介護が必要な患者さんへの情報提供を行い、介護・福祉サービス事業所との橋渡しをして、必要な介護サービスを受けられるよう支援しています。また、「病気の治療、受診」「医療費などの経済面」「難病や障害者手帳の

申請」などについて、多分野の相談を受け付けています。病院理念である「良い医療を安全に心を込めて地域とともに」に基づいて、地域の方々へ貢献できるよう職員一同努力してまいりますので、お気軽にご相談ください。

(地域医療連携係長 佐々知恵)





寄附について

個人・企業の皆さまからのご寄附を賜り、この場をお借りして心より感謝申し上げます。

独立行政法人国立病院機構宮城病院では、患者様に高度で安全な医療を提供するため、施設の整備、療養環境整備、職員の教育など有効に活用させていただきます。

当院の運営のために、格別のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

(給与係長 鈴木 元)

※公開のご了承をいただいた方のみ、ご芳名を掲載しております。

(令和8年ご寄附等受領分)

令和8年2月2日

東北楽天ゴールデンイーグルス 様

車椅子をご寄付いただきました

このたび、東北楽天ゴールデンイーグルス様より、宮城病院へオリジナルデザインの車いすをご寄贈いただきました。

寄贈いただいた車いすは、球団カラーを基調とした明るく親しみやすいデザインとなっており、現在、病棟やリハビリテーション部門において、患者さんの移動支援やリハビリテーション時の移動などに活用しています。

車いすは、入院生活や外来受診の場面において、患者さんの安全な移動を支える大切な備品です。今回寄贈いただいた車いすは、機能面で患者さんの移動を支えるだけでなく、東北楽天ゴール



デンイーグルスのデザインが施されていることで、利用される患者さんやご家族、職員にとっても、明るい話題となっています。

地域に根ざしたプロスポーツチームからの温かいご支援は、当院にとって大変心強く、患者さんに寄り添った医療・療養環境づくりを進めるうえで大きな励みとなります。

宮城病院では、今後も地域の皆さまや関係機関とのつながりを大切にしながら、患者さんが安心して療養できる環境づくりに努めてまいります。

(給与係長 鈴木 元)



職場紹介 中央病棟2階

中央2階病棟は重症心身障がい児（者）病棟として重度の肢体不自由と著しい知的障害を併せ持つ方々が、安心して生活・療養できる環境を提供しています。患者さんは未就学児から成人・高齢者まで幅広く、脳性麻痺、先天性疾患、事故による脳損傷、てんかんなど、多様な背景を持っています。障がいを抱えながら山元支援学校に通院される患者さんや医療的ケアを要する患者さんが安心して医療を受けながら療養生活ができる

環境と看護を提供したいと心がけています。そして患者さんが季節を感じられるような関わりや日々の生活に活力を見出せるようにするために支援していきたくて考えております。私たちは、ご本人の小さな変化にも気づき、寄り添いながら、ご家族とも連携して「その人らしい時間」を大切にする看護を実践しています。温かく、安心できる“もうひとつの家”のような病棟を目指していきます。4月から新たに新人看護師2名、業務技術員1名の3名のスタッフが加わり、総勢34名で頑張っています。

(看護師長 岩瀬千絵)



職場紹介 中央病棟3階

中央3階病棟でも、病状が安定した患者さんの療養生活を支えるだけでなく、緊急入院への対応や手術を受ける患者さんの周術期看護など、幅広い役割を担っています。日々の病棟は決して静かな時間ばかりではなく、急な対応に追われることもあります。スタッフが声を掛け合い、明るく前向きな雰囲気を大切にしながら看護にあたっています。

また、医師、リハビリテーションスタッフ、薬剤師、栄養士、地域医療連携室など多職種と連携し、入院中の治療や療養だけでなく、退院後の生活も見据えた支援を行っています。患者さんやご家族が安心して過ごせるよう、温かく丁寧な関わりを心がけています。

これからも中央3階病棟は、地域の皆さまに信頼される病棟を目指し、スタッフ一同、明るくパワフルに取り組んでまいります。

(看護師長 星 康子)

まだ未熟ではありますが、患者様ひとりひとりに寄り添いその方の個別性に合わせた関わりができるよう努めていきたいです。

これから知識や技術を1つひとつ身につけながら成長し、ナースの一員として周囲の方々と助け合い、患者様が安心していただける看護を提供できるよう頑張っています。



職場紹介 中央病棟4階

中央4階病棟は、現在、地域包括ケア病棟として運営しております。山元町は2026年3月末現在の総人口が11,219人であり、平均年齢は約54.1歳と、地域での医療・介護連携の重要性が高い地域です。当院の地域医療連携室、地域包括ケアセンター、訪問看護ステーション、外来等と緊密に連携し、地域包括ケアシステムを支える病棟として、その役割を十分に果たせるよう努めてまいります。

(看護師長 吉田 憲生)



米沢病院から異動してきました吉田憲生です。

宮城病院のある山元町は気候が温暖で雪も殆ど降らないと聞いています。

また、ほっき飯やいちごなどの美味しい食べ物もたくさんあるようで、それらを楽しみしながら、宮城病院で勤務したいと思います。

色々和不慣れですが今後とも宜しくお願い致します。



白戸盟深です。

趣味：映画鑑賞

抱負：先輩方からたくさんを学び、一生懸命頑張ります。宜



職場紹介 南a病棟

当病棟は、脳神経内科・脳神経外科・内科の慢性期病棟として、主に難病の患者さんの療養生活を支えています。長期入院の患者さんが多いため、病棟内は木目調を基調としたお家のような温かみのある落ち着いた環境づくりを大切にしています。患者さん一人ひとりが安心して過ごせるよう、スタッフ同士が連携しながら、安全で思いやりのある看護の提供に努めています。日々の関わりの中で信頼関係を築き、患者さんに寄り添った看護を実践しています。



今年度も新たに新人看護師2名を迎えました。慣れない環境の中で緊張した様子も見られますが、先輩看護師の指導を受けながら、一つひとつの経験を大切にし、日々成長しています。これから患者さんに信頼される看護師へと成長していく姿が楽しみです。

(看護師長 菊地 舞)



職場紹介 事務部

事務部は、医師・看護師をはじめとする多職種が安心して医療に専念できるよう、病院運営を支える部門です。管理課では、人事・給与・勤務時間管理、福利厚生、文書管理、院内外の連絡調整などを担い、職員の働きやすい環境づくりに取り組んでいます。企画・会計部門では、医薬品・医療材料の購入、業務委託や施設整備に関する契約、財務管理などを通じて、安定した病院経営を支えています。医事部門では、外来・入退院の受付、診療費の計算・請求、診療報酬の管理、地域医療機関との連携などを行い、患者さんと病院経営の双方を支えています。

宮城病院は、亘理郡山元町に所在する290床の病院として、地域医療とセーフティネット医療の役割を担っています。事務部は表に立つ機会こそ多くありませんが、病院全体を横断的に支える「縁の下の総合職」です。令和8年度は4月から新たに2名の職員を迎え、新体制でスタートしました。今後も各部門との連携を大切にし、患者さんが安心して医療を受けられる病院づくりに向けて、事務部一同、業務に邁進してまいります。

(給与係長 鈴木 元)

熊谷 優香

趣味 アイドル鑑賞、映画鑑賞
抱負 病院の施設に関する業務を通じて患者様やそのご家族、病院で働いている職員の方が快適に過ごせる環境づくりに取り組んでいきたい。



永山 優花

趣味 旅行
抱負 給与基礎知識をみにつけて、職員の方々が働きやすい環境づくりに貢献したい。

職場紹介 リハビリテーション科

リハビリテーション科では今年度、4人の新任セラピストが仲間入りしました。以下、新任スタッフをご紹介します。(①氏名 ②役職 ③趣味 ④ひとこと)



①寺沢 蓮 (てらさわ れん)
②理学療法士
③ランニング、バレーボールなど体を動かすこと
④患者様に寄り添っていける理学療法士になれるよう頑張っていきたいです。



①藪下 円 (やぶした まどか)
②作業療法士
③youtube
④できるだけ早く業務を覚えられるように頑張ります。よろしくお願いします。



①伊藤 翔太郎 (いとう しょうたろう)
②理学療法士
③旅行47都道府県に行く 食べること
④前向きに挑戦していく



①高橋和香 (たかはし のどか)
②作業療法士
③お菓子作り、ドライブ
④「寄り添い」と「連携」を大切にしていきたいと思っています。よろしくお願いします!

以上、新しいスタッフを加え、より一層、患者様へ良い医療を安全に心を込めて提供できるよう、励んでまいります。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

(作業療法士長 川越 清道)

診療科	曜日	月	火	水	木	金
脳神経内科 (新患は予約制)	新患	張替 宗介	宮本 達夫 (新患のみ) 船山 由希乃 (第1・3・5)	宮澤 康一 (新患・再来)	松本 有史 (院内のみ)	割田 仁 (新患のみ) 齋藤 早紀 (第1・3・5)
	再来	宮本 達夫	割田 仁 (第2・4 再来のみ)	松本 有史 (再来のみ)	張替 宗介	金子 仁彦 (第2・4)
内科		清野 仁	清野 仁	志澤 聡一郎	清野 仁	清野 仁
		志澤 聡一郎	齋藤 拓矢	齊藤 秀行	志澤 聡一郎	志澤 聡一郎
		齊藤 秀行		齋藤 拓矢		菊地 章子
循環器内科	午前		東北大学病院から	加藤 浩	東北大学病院から	
	午後		東北大学病院から (検査日)			
呼吸器内科			佐野 寛仁			
消化器内科	午後			県立がんセンターから (13:30~15:30) 第2・4週(水を基準)	県立がんセンターから (13:30~15:30) 第2・4週(木を基準)	
アレルギー科	午前					
小児科	午前			東北大学病院から		東北大学病院から
整形外科	午後					県立がんセンターから (13:30~15:30)
形成外科		澤村 武 (9:00~11:00)		舘 一史		澤村 武 (13:30~15:30)
皮膚科	午前				東北大学病院から	
脳神経外科		仁村 太郎	安藤 肇史	仁村 太郎	(手術日)	安藤 肇史
			永松 謙一 (不定期)			
歯科		稲木 涼子	稲木 涼子	稲木 涼子	稲木 涼子	稲木 涼子
		中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子
専門外来 (予約制)	パーキンソン病外来	脳神経内科外来にて受け付け				
	頭痛外来	脳神経内科外来にて受け付け				
	もの忘れ外来	脳神経内科外来にて受け付け				
	ALS外来	脳神経内科外来にて受け付け				
	ふるえ外来(FUS外来)	脳神経外科 (予約制)		脳神経外科 (予約制)		脳神経外科 (予約制)
	糖尿病外来				医科薬科大学病院から	
	禁煙外来	午後				山本 蒔子 (第2・4週)
	女性外来	午後				山本 蒔子 (第2・4週)
	腎臓病外来	午後				公済病院から (第1・3週)
入れ歯外来			白石 成		重光 竜二	

受診される方へ

①受付時間は8時30分から11時です。
 ②土曜日・日曜日・祝日・休日及び年末年始(12月29日から1月3日)は休診です。
 ただし、**急患の方は随時受付いたします。問い合わせ先 0223-337-1131**
 ③初めて当院を受診される方は、他の医療機関からの紹介状をお持ちください。紹介状がなくなるとも受診はできますが、その場合初診時に**2750円を負担**していただくこととなりますので予めご了承願います。



交通のご案内

●自動車でおいでの方●

■仙台方面から■

仙台市中心部から南へ約40km、国道4号線と6号線分岐点から南へ20km、国道6号線314.5kmポイント(標識)が目印です。

高速道路ご利用の場合、常磐自動車道山元ICで降り、国道6号線を相馬方面へ南下。山元ICから約5km。

■相馬方面から■

国道6号線を仙台方面に向かい、宮城・福島県境から約10分です。

●交通機関をご利用の方●

■仙台方面から

JR常磐線山下駅下車。タクシーまたは町民巡回バス利用。(詳しくはお問い合わせください)

